



寺嫁まめこの ひとこと通信

お寺のことや仏教のことをもっと身近に！そんなことをまずは自分で感じてみよう～、と思いながら書いている寺嫁のつぶやき。

VOL.41 (令和5年3月発行)

こんにちは。「自分は花粉症じゃない。」と言い聞かせて5年くらいは経っているまめこです。目のかゆみぐらいなので、軽めの目薬で乗り切っていますが、今年はどうなることやら…なるべく花粉をカラダの中に取り入れないう気張っています！…って全然仏教と関係ない話をべらべらしてしまった(^^; さてさて、今年はお経のお勉強、ということで今号もよろしくお願ひします！

～ 出会えたことが奇跡。って、奇跡のレベルが違う！ ～



1周忌とか、3回忌とかのお年忌法要のときに、東光寺では最初にお唱えする

「**開経偈 (かいきょうげ)**」を今回は取り上げます！

まずはお経の全文を紹介しましょう～
短いのでさらりとよめます↓

無上甚深微妙法 (むじょうじんじん みみょうほう)
百千万劫難遭遇 (ひゃくせんまんごう なんそうぐう)
我今見聞得受持 (がこんけんもん とくじゅじ)
願解如来真實義 (がんげによらい しんじつぎ)

漢字が並んでいるので、わかりそうな…でも、よくわからない。ですよね(^^; その内容はというと、

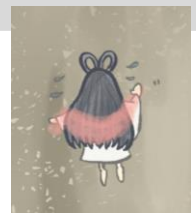
この上もなく、深くめっちゃめっちゃすばらしい仏さまの教えは、永遠という時間をかけたとしたって、出会えることは難しいんだよ。でも、私は今ここで出会った！そしてそれを聴き、心にとどめることができている！！どうか、この教えをしっかりと理解し、さとることができるよう。

という、今ここで出会えたことへの感動とこの先への誓いをあらわしています。

そして、その感動の表し方がハンパない！

それが**百千万劫難遭遇**という部分。

がんばってるよー
大変だよー



劫(ごう)は時間の単位でして、およそ160立方キロメートルくらいの岩を100年に1回、天女が羽衣でなでて、うっすらこすれて、それを繰り返す、繰り返す、やっとその岩がなくなってもまだ1劫に至らない、くらいの途方もない時間の長さです。

それが**百千万劫**ってまじ、どんだけ～～～(?_?)ですよ。

それだけの時間かけても出会うことが難しい。なのに、私は今会ってる！これって奇跡以上に奇跡！

さらに私自身は仏さまの教えに出会うだけじゃなく、その教えを守るお寺に住んで、毎日接しているなんて、どんだけすごいことなのかな、って改めて思います。

亡くなった祖母が、私がお寺の人と結婚することをものすごく喜んでくれたのを思い出しました。

どうぞ、お唱えする時に、奇跡的な出会いをしていることを思い出していただけたら嬉しいです！